

エ2K14

25-25 No 2037



廣告

哲學館將來ノ目的



余歐米各國を巡遊シテ且ツ感シ且ツ驚キシモノアリ即チ各國ノ大學ハ勿論中學小學ニ至ル迄皆其國固有ノ學ヲ以テ基本トシ交ユルニ他邦ノ學ノ之レト關係ナ有スルモノヲ以テス英國ノ學ヲ保護シ愛重スルコト此ノ如シ蓋シ其國固有ノ學ハ一國ノ獨立ヲ助クルニ必要ナル元素ヲ含有スルモノニシテ之ヲ愛護スルハ一國獨立ノ思想ヲ人心中ニ維持スルニ必要ナルニヨリ然ルニ願テ我邦ヲ視レハ未タ日本固有ノ學ヲ基本トシテ立テタル大學ヲ有ス又之ヲ愛護スルノ必要ヲ説クモノスラアラサルカ如シ而我邦ニハ我邦固有ノ學問ハ史學文學宗教學等是レナリ之ヲ愛護シ之ヲ專攻スルノ方法ヲ設ルハ日本從來ノ學問ヲ起スルニ必要ナルノミナラス日本ノ人心ヲ維持シ獨立ヲ保存スルニ必要ナリ是ニ於テ日本主義ノ大學ヲ設立スル必要起ル其大學ハ日本固有ノ學問ヲ基本トシテ之ヲ輔翼スルニ西洋ノ諸學ヲ以テシ其目的トスル所ハ日本國ノ獨立、日本人ノ獨立、日本學ノ獨立ヲ期セサルヘカラス此ノ如キ大學ニシテ始メテ眞ノ日本大學ト謂フヘシ然レモ大學ノ事タル大業ナリ一朝ニ創シテ一夕ニ成ルヘキニアラス漸々次々

其序ヲ追フテ基礎ヲ起シ大成ヲ數年ノ後ニ期スルヲ要ス故ニ余ハ此哲學館ヲ以テ其目的ヲ達スル階梯トシ今ヨリ漸ク其功ヲ積ミ他日ニ至リテ堂々タル日本大學ノ一家ヲ落成セントス抑從來本館ニテ教授スル所ノ學科ハ西洋東洋ノ兩部アリテ東洋部中ニハ日本學アリ支那學アリ印度學アリ日本學中ニハ史學文學宗教學哲學ヲ兼修セシメ支那學中ニハ文學宗教學哲學ヲ兼修セシメ印度學中ニハ宗教學哲學ヲ兼修セシメシナリ而シテ其支那學モ印度學モ皆我邦ニ傳來スルモノニツイテ教授ヲ施セリ故ニ是レ皆其名ハ他邦ノ學ナルモ其實我邦ノ學ナリ唯我邦ノ學問中ニ日本在來ノモノト支那傳來ノモノト印度傳來ノモノ、別アルノミ而シテ其所謂傳來ノモノハ其初日本ニ傳來シテヨリ以來千餘年ヲ經過シ我邦在來ノ文物ト共ニ成長シ共ニ發達シテ一種固有ノ日本性ヲ帶ヒ此諸元素相和シ相合シテ一種固有ノ國風民情ヲ化成シ其今日印度支那ニアルモノト大ニ其性質ヲ異ニスルニ至レリ即チ其學ハ日本固有ノ學ト謂ハサルヘカラス故ニ余カ今日哲學館ノ上ニ改良ヲ行ハントスルノ意ハ其名稱及ヒ學科ノ制ヲ變スルニアラス唯其主義トスル所日本主義ヲ取リテ一方ニハ日本國ノ獨立ヲ維持シ一方ニハ日本固有ノ諸學ヲ愛護シ其學科中ノ東洋部ハ日本固有ノ學(即チ神儒佛三道及ヒ我邦固有ノ哲學、史學、文學)ヲ教授スルモノトシ漸ク進テ他日日本大學ノ組織ヲ開カンコトヲ望ムモノナリ

明治二十二年七月

館主 井上 圓了

哲學館館內員募集

本館今度館主歸朝ノ上教場及寄宿舎新築ニ取掛本月十七日ヨリ從來ノ教場ニテ始業二十三日ヨリ新教場ニテ授業致候ニ付左之通入學募集ス●月謝八十錢●館費拾錢●寄宿凡貳圓●舍費貳拾錢●束脩壹圓五十錢

一年級 百五十名 二年級 五十名 三年級 五十名

右入學望ノ者本月十五日迄ニ申込ヘシ入學試験ハ各級共無之定數滿員迄ハ當人望ノ級ヘ編入スヘシ但定員未滿ノ級ハ期日後ニテモ入學ヲ許スコアルヘシ

日本學(神學史學文學) 支那學(文學哲學) 印度學(哲學宗教學)

論理學 心理學 社會學 倫理學 純正哲學

教育學 博物學 人類學 博言學 史學

政治學 經濟學 希臘哲學史 近世哲學史

政理學 法理學 審美學 宗教學

講		師	
文學士 井上圓了	萩野由之	文學士 國府寺新作	文學士 澤柳政太郎
文學博士 加藤弘之	岡本監輔	文學士 坂倉銀之助	文學士 清野勉
文學士 岡田真平	吉谷覺壽	文學士 三宅雄二郎	文學博士 島田重禮
文學士 棚橋一郎	辰己小次郎	文學士 島地默雷	文學士 森山益夫
文學士 內田周平	黑川真頼	文學士 關根正直	工學士 鈴木券太郎
文學博士 黒川真頼	村上專精	文學士 鈴木敏	文學士 鈴木券太郎
文學博士 小中村清矩	松本愛重	文學士 鈴木敏	文學士 鈴木券太郎
文學士 齊田功太郎	高崎嘉右兵衛	文學士 鈴木敏	文學士 鈴木券太郎
文學博士 島田重禮	村上海	文學士 鈴木敏	文學士 鈴木券太郎
文學士 平山順	高崎嘉右兵衛	文學士 鈴木敏	文學士 鈴木券太郎
工學士 森山益夫	高崎嘉右兵衛	文學士 鈴木敏	文學士 鈴木券太郎
文學士 鈴木券太郎	高崎嘉右兵衛	文學士 鈴木敏	文學士 鈴木券太郎

(以上定時講師臨時講師共姓名以呂波順)

英學科 錢月謝七十錢館費拾錢 ● 哲學本科生ニ限リ月謝五拾錢受驗料及館費ヲ要
 セス ● 但此科ニ限リ十月一日ヨリ始業ス

● 規則入用ノ者ハ郵券貳錢御送付次第郵呈ス

九月一日

東京市 本郷區 哲學館

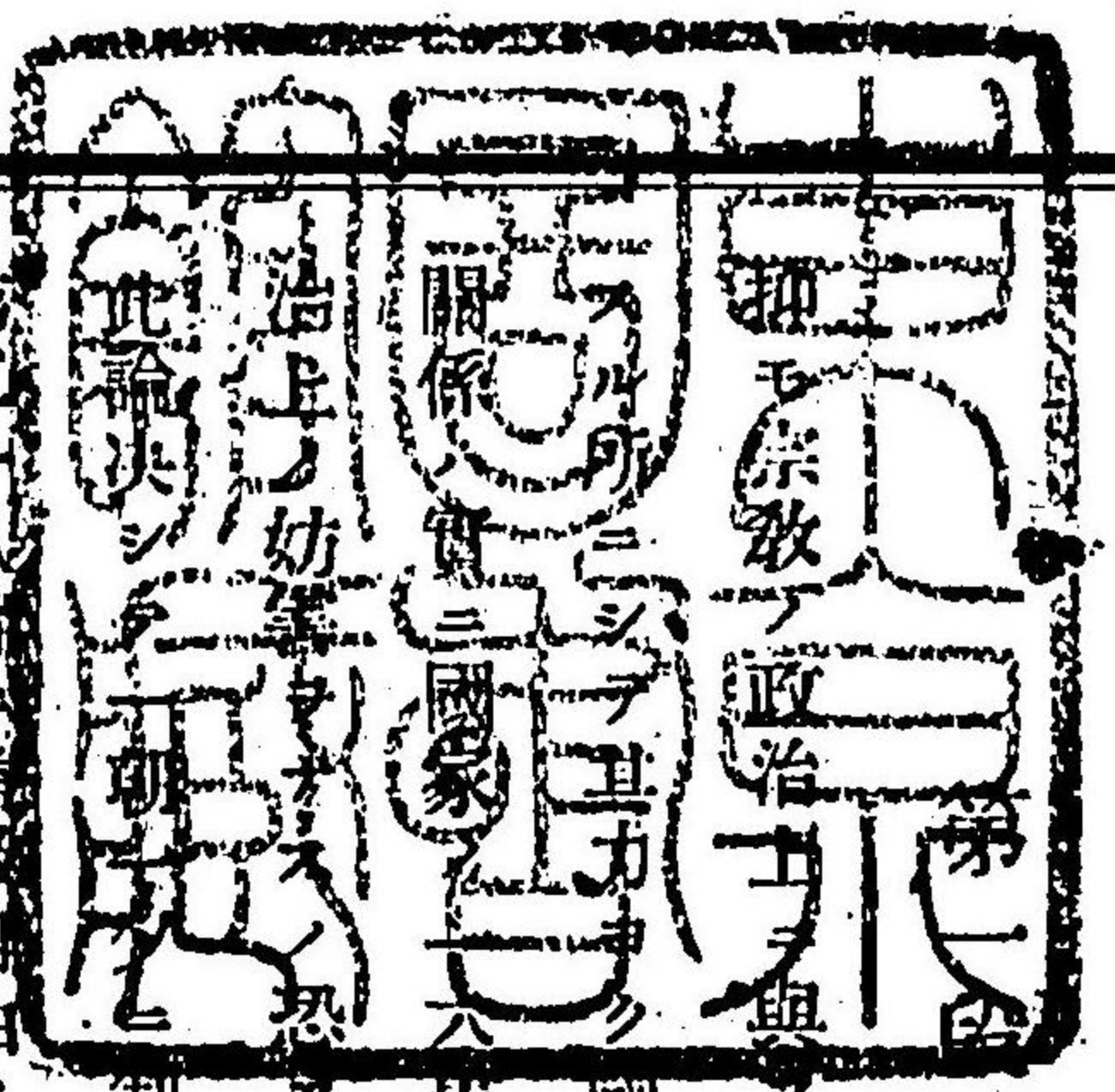
日本政教論目次

- 第一段、 政教ノ關係ハ國家ノ一大事ナルヲ
- 第二段、 歐米各國ノ宗教
- 第三段、 我邦舊來ノ宗教
- 第四段、 歷史上ノ緣故
- 第五段、 日本文明ノ精神
- 第六段、 宗教ト國體トノ關係
- 第七段、 內國宗教間ノ調和
- 第八段、 宗教ト愛國思想トノ關係
- 第九段、 宗教ト愚民トノ關係
- 第十段、 外教ハ外國教會ノ出張ナルヲ
- 第十一段、 外國政府ノ關係

- 第十二段、 外國風俗ノ關係
- 第十三段、 各國ノ政体ト宗教トノ關係
- 第十四段、 外國宗教間ノ不和
- 第十五段、 外教ノ恐ルヘキ所以
- 第十六段、 政治上ノ患害ヲ豫防スル良策
- 第十七段、 公認教ヲ設ケル必要
- 第十八段、 公認教ヲ設ケル規則
- 第十九段、 公認教ノ名稱
- 第二十段、 公認教待遇ノ方法
- 第二十一段、 公認教ノ反對說
- 第二十二段、 公認教ノ請願若クハ建白

日本政教論

井上 圓了



政教ノ關係ハ國家ノ一大事ナルヲ

抑モ宗教ノ政治ニ與ル所ノ勢力及ヒ之レニヨリテ生スル所ノ運動ハ國家安危ノ關係ヲ興シ其力ヨク家ヲ亡スハ古今東西其例甚々多シ故ニ政教ノ關係實ニ國家ノ一大問題ナリ政教混同スルハ政治上ノ妨害ナルモ政教分離スルハ必シモ政治上ニ便益アルヲ保シ難シ故ニ此論決シテ一朝廷ニテハ判定ス可ラサルハ明カナリ余退テ我邦今日ノ事情ヲ考ルニ憲法第二十八條ニ信教自由ノ布達アルモ政教ノ關係未タ判然タラス政教ノ前途未タ一定セサルヲ見ル然ルニ外國ノ宗教ハ歐米各國ヨリ續々我邦ニ入リ之レト共ニ其本國ノ人情風俗我民間ニ流布スルニ至リ内國ノ宗教ハ漸々其刺激ニヨリテ振動激發セントスル勢

№ 20370

アリ今日ヲ以テ將來ヲ推スニ早晚一大爭論ノ此間ニ起ルアリテ一大困難ヲ國家ノ上ニ來スノ日アラント是レ余カ今ヨリ深ク恐ル、所ナリ方今朝ニアリテ政教ノ關係ヲ談スル者モ野ニ在テ政教ノ前途ヲ論スル者モ皆宗教ノ性質ヲ知ラス宗教ノ勢力ヲ識ラス宗教ノ利害得失ヲ辨セス唯一時ノ風説、一己ノ臆斷ニ由テ或ハ政教分離ヲ主唱シ或ハ信教自由ヲ贊成スルノミ我政府維新以來百般ノ制度ヲ改良スルニ當リ年々有爲ノ士ヲ歐米ニ差遣シテ或ハ學術上、或ハ實際上彼地ニアル事々物々ヲ觀察セシメタリト雖モ獨リ宗教ノ前途ヲ定ルニ至テハ未タ一人ノ彼地ニ渡リテ其實況ヲ觀察セシ者アルヲ聞カス是レ余カ國家ノ爲メニ獨リ政教ノ將來ヲ憂慮シ自ラ進テ歐米各國ノ巡遊ヲ企畫スルニ至リシ所以ナリ一タヒ彼諸邦ヲ巡遊シテ政教ノ實際ヲ觀察シ歸テ我邦ノ事情ヲ視ルニ我政教ノ前途關係ニ就テ大ニ自ラ發見シ且ツ覺悟スル所アリ余以爲ラク政府ハ政教ノ關係ヲ定ルニ此方法ヲ用井サル可ラス宗教家ハ政教ノ前途ヲ立ツルニ此進路ヲ取ラサル可ラス是レ實ニ今日政教錯雜ノ際ニアリテ霧海ノ方鍼、暗夜ノ燈光ナリト自ラ信

ル所ナリ故ニ此論タルヤ官民僧俗ヲ分タス我邦數千萬ノ同胞ニ向テ悉ク一讀アラントヲ切望スルナリ

第二段 歐米各國ノ宗教

歐米各國今日ニ在テハ皆信教ノ自由ヲ公達スト雖モ其公達ノ下ニ國教ヲ立ツル國アリ公認教ヲ置ク國アリ己ニ魯國、英國ノ如キハ國教ヲ置キ佛國、埃國ノ如キハ公認教ヲ設ケリ公認教ハ特認、若クハ特待教ノ義ニシテ政府ニテ其國多數人民ノ奉信スル宗教ハ少數人民ノ奉信スル宗教ニ區別シテ特別ノ待遇法ヲ設クルモノヲ云フ彼ノ諸邦ニテ此公認教ヲ定ル法ハ宗教ノ何宗タルヲ問ハス唯信徒ノ多數ニヨルモノナリ故ニ現今佛國ニテ公認教ト定メタルモノ四教アリ耶蘇舊教、新教、猶太教、「モツシユルマン」教(回教ノ一種)ナリ埃國ニモ四教アリ舊教、新教、希臘教、猶太教ナリ是ニ由テ之ヲ觀ルニ我邦ニ於テハ憲法上信教ノ自由ヲ公達スト云フモ其公達ノ下ニ國教若クハ公認教ヲ設ルニ必要ナル可シ然レモ余輩ハ政教混同ヲ主唱スル者ニアラス國教組織ヲ贊成スル者ニアラ

ス唯余ハ政治ノ目的ハ國家ノ安寧、社會ノ幸福ヲ増進スルニアリトシテ之ヲ考ルニ政治上公認教ヲ設ルニ必要ナリト信スルナリ而シテ其所謂公認教ハ國教ト全ク異ナルモノナリ公認教ハ政教ヲ混同スルモノニアラス唯多數人民ノ奉スル所ノ宗教ト少數人民ノ奉スル所ノ宗教ト政府ノ待遇ヲ異ニスルノミ數百年間傳道セルモノト數年間布教スルモノト政府ノ認定ヲ異ニスルノミ若シ一國ノ上ヨリ之ヲ見レハ自國從來ノ宗教ニテモ外國傳來ノ宗教ニテモ佛教ニテモ耶穌教ニテモ苟クモ其人民ノ奉信スル以上ハ公平同等ニ見做サ、ルヲ得スト雖モ數百年間布教シ多數人民ノ奉信スルモノハ之ヲ待遇スルノ方法ニ於テ多少殊ニスル所ナカル可ラス其ノ之ヲ異ニスルノ意ハ國家ノ獨立ヲ扶ケ社會ノ秩序ヲ守リ政治ノ安寧ヲ保ツニ必要ナル事情アルニ由ル故ニ余ハ我政府ニ對シテ公認教ヲ制定スルヲ望ミ之ヲ制定スルニ左ノ二條ヲ設置アラントテ請フモノナリ

第一條、我邦ニ數萬(例ヘハ五萬乃至十萬以上)ノ信徒ヲ有シタルモノハ公認教ト

ス

四

第二條、我邦ニ數十年(例ヘハ五十年乃至百年)間布教セルモノハ公認教トス
此二條ニ合スルモノハ如何ナル宗教ニテモ憲法第二十八條ニ從ヒ國家ノ安寧秩序ニ妨ケナキ以上ハ公認教トスヘシ而シテ公認教ノ名稱ヲ設ルノ必要及此二條ヲ置クノ必要ナル所以ハ下ニ述フ可シ

第三段 我邦舊來ノ宗教

今公認教ヲ設ルノ必要ヲ述フルニハ先ツ日本舊來ノ宗教ト外國新入ノ宗教トヲ比較シテ其利害ヲ辨明セサル可ラス日本舊來ノ宗教ハ神儒佛三道ヨリ成ルモ儒道ハ我邦ニアリテハ未ダ宗教ノ組織ヲ取ラサリシヲ以テ暫ク神佛二教トスルナリ此二教中一ハ日本在來ノ宗教ニシテ一ハ印度傳來ノ宗教ナルモ今日ニアリテハ我佛教ハ日本ノ佛教ニシテ印度ノ佛教ニアラス其故ハ佛教一タヒ我邦ニ入リシ以來大ニ改良シ大ニ發達シテ一種別流ノ佛教トナリ其今日印度ニ存スルモノト殆ト全ク異ルモノナリ且ツ佛教ハ我邦ニアリテ一千數百年間我社會ノ文物ト互ニ混同シ共ニ成長シテ一種固有ノ日本性ノ佛

五

教トナレリ故ニ神佛二教ハ純然タル我邦舊來ノ宗教ト云フ可シ我邦固有ノ宗教ト云フ可シ之ヲ耶蘇教各派ノ今日我邦ニ在ルモノニ比スレハ其等差同日ノ論ニアラサルナリ

第四段 歷史上ノ緣故

神佛二教ハ我舊來ノ宗教ナルヲ以テ我歷史上ニ最モ緣故アル宗教ナルコトハ歴史ヲ一讀スル者ノ皆熟知スル所ナリ神道ノ緣故アルハ云フマテモナク佛教モ其古來ノ本寺本山、僧位僧官ハ皆勅命勅旨ニヨリテ設置セルモノニシテ各州各郡ニ寺院ヲ創立シ住職ヲ任命シ以テ國家鎮護ノ一助トナシタルカ如キハ名實共ニ佛教ヲ以テ國教ニ組織シタルモノナリ皇室歷朝ノ葬祭ハ佛教ニヨリテ營ミシモノ及ヒ皇族ニシテ佛門ニ歸シ佛寺ニ入リシモノ幾人アルヲ知ラス又勅命ニヨリテ寺院ヲ封シ寺格ヲ授ケタルモノ幾寺アルヲ知ラス今日各宗ノ僧侶ニシテ門地門閥アルハ皆此緣故ヨリ出テタルモノナリ其他歷史上ノ緣故ハ一々枚舉スルニ遑アラス我皇室國體ノ永續スル間ハ此緣故ヲ保存スル

ハ道理上實際上共ニ必要ナルコトニシテ若シ其緣故ヲ廢スルカ如キハ是レ即チ歷史上ノ事實ヲ廢スルモノニシテ歷史上ノ事實一タヒ廢スルニ至レハ我皇室國體ノ永續ヲ期スルコト固ヨリ難カル可シ何者我國體ハ歴史ニヨリテ建テタルモノナレハナリ西洋各國ニ於テ歴史ニヨリテ建タル國ハ務メテ古來ノ緣故ヲ保存セントス例ヘハ英國ノ如シ「カングバリー」「ヨトク」等ハ歷史上緣故アル寺院ナルヲ以テ之ヲ今日ニ保存シ之ヲ今日ニ特待スルナリ故ニ我邦皇室國體ノ永續ヲ期セント欲セバ歷史上緣故深キ寺院ハ之ニ保存シ其宗教ハ之ヲ特待セサル可ラス豈之ヲ毫モ我邦ニ緣故ナキ宗教ト同一視スルノ理アラシヤ

第五段 日本文明ノ精神

余曾テ曰ク日本ノ文明ハ神儒佛三道ノ混和化合ヨリ成リ之ヲ分解スレハ復タ日本ノ文明ナシ故ニ日本文明ノ精神、日本性質ノ基本ハ此三道ノ中ニアリテ存ス故ニ日本風ノ外國ニ異ルモ日本人心ノ外國人ニ異ルモ日本國ノ獨リ東海ノ上ニ獨立スルモ我皇室ノ

開國已來永續スルモ皆此三道ノ結果影響ニアラサルハナシ故ニ日本人心ヲ維持シ日本獨立ヲ保存シ日本人ノ日本人タル所以、日本國ノ日本國タル所以ノモノヲ養成セント欲セハ此舊來ノ宗教ヲ永續セサル可ラス且ツ中古我邦ノ文學ハ全ク佛教ニ由テ成リ其時代ノ著書一トシテ佛教ノ主義ニ出テサルハナシ其他當時ノ美術遊興風俗禮式皆佛意ニ本キテ組織シタルモノナリ而シテ風俗禮式ハ社會ノ秩序ヲ守リ一國ノ獨立ヲ保ツニ最モ必要ナルモノナリ歐米各國ハ其文明同一源ヨリ流出シタルモ皆其國固有ノ風アリテ英ノ風ハ佛ニ異リ獨ノ風ハ魯ニ異ルヲ見ル其互ニ相異ルハ各國皆獨立ノ國ニシテ其人民獨立ノ氣風ニ富ムニヨルト云フヨリ外ナシ故ニ我邦モ永ク其獨立ヲ維持セント欲セハ風俗禮式等ノ古來民間ニ傳ハリシモノハ務メテ之ヲ保存セサル可ラス之ヲ保存セント欲セハ其基本トナリ精神トナリ併テ我カ文明ノ源泉トナリタル宗教ヲ保護セサル可ラサルハ問ハスシテ明カナリ

第六段 宗教ト國体トノ關係

我舊來ノ宗教ハ我皇室國体ノ下ニ千數百年間流布シ我皇室國体ハ此宗教ノ上ニ千數百年間連續セルヲ以テ其宗教ハ漸々改良發達シテ我國体ニ最モ適シタル形質ヲ取リ我皇室ヲ永續スルニ最モ力アル宗教トナレリ別シテ我先王此宗教ヲ以テ國教ヲ組織シ護國鎮家ノ一助トナシタル緣故アルヲ以テ皇室ノ繁昌國体ノ永續ニハ此宗教ヲ維持スルヨリ外ニ良策ナキナリ今歐米ノ事情ヲ考フルニ各國皆其政治國体ニ最モ適シタル宗教ヲ用フルヲ見ル其謂所國教モ公認教モ皆其政体ニ適シタルモノ外ナラス是ヲ以テ各國皆別派別立ノ宗教ヲ奉スルニ至レリ然ルニ我邦ハ其國体外國ト異ルヲ以テ外國ノ宗教ト異ルモノヲ用非サルヲ得サルハ勿論ニシテ萬國ノ宗教中我舊來ノ宗教ノ外ニ我國体ニ適スル宗教ナキハ亦明ナリ是ニ由テ之ヲ觀ルニ各國ニ於テ其國ノ政体ニ最モ適シタル宗教ヲ組織シテ國教トナシ或ハ之ヲ特待シテ公認教トナスカ如ク我邦ニテモ我國体ニ最モ適シタル宗教ハ之ヲ特待シテ公認教トナスコト必要ナリト考フルナリ

第七段 内國宗教間ノ調和

一國中ノ宗教互ニ相争ヒ相抗スルキハ一國ノ人心ヲ離散セシムルハ勿論ニシテ政治上ノ不幸不利蓋シ是ヨリ大ナルハナシ請フ見ヨ古來歐洲各國ニ於テ宗教間ノ不和ハ轉シテ政治上ノ不和ヲ生シ宗教上ノ争乱ハ轉シテ政治上ノ争乱トナリシト史上其例ニ乏シカラサルヲ若シ此ノ如クナルキハ實ニ國家ノ不幸ト云ハサルヘカラス然ルニ我邦從來ノ宗教ハ數世間ノ競争淘汰ニ由テ神佛互ニ相和スルノ習慣ヲ生シ今日ニアリテハ兩教並存並行スルモ不和争亂ヲ其間ニ起スノ憂ナキニ至レリ即チ此兩教ハ互ニ相調和セルモノナリ別シテ古來我邦ノ宗教家及ヒ政治家ハ専ラ此調和ニ注意シ政治上ニアリテ種々ノ方法ヲ政教ノ間ニ施シ宗教内ニアリテ種々ノ解釋ヲ宗意ノ上ニ下シ其極此ニ至ルナリ然ルニ外教ノ如キハ今日今時ニ入リタルモノナレハ其性質ト云ヒ其組織ト云ヒ我從來ノ宗教ト調和スルコト能ハサルハ必然ナリ且ツ其不和ハ今日ノ勢獨リ我從來ノ宗教ト外教トノ間ニ存スルノミナラス其所謂外教ニハ英ヨリ入ルモノアリ魯ヨリ入ルモノアリ佛ヨリ入ルモノアリ米ヨリ入ルモノアルヲ以テ此各派ノ間ニ又不和争亂ヲ起スハ

必然ナリ政治家ハ此際ニ立テ飽マテ宗教ノ調和論ヲ唱ヘ務メテ國家ノ爲メニ不和争亂ノ其間ニ起ラサル様ニ今日ヨリ其方法ヲ設クルコト急要ナリト知ルヘシ

第八段 宗教ト愛國思想トノ關係

凡ソ宗教ノ性質タルヤ他ノ百般ノ事々物々變化中ニ一種不變ノ精神ヲ持續スルノ力アリ且ツ離散セル人心ヲ結合シテ一説ニ會歸スルノ力アルモノナリ故ニ余曾テ之ヲ論シテ曰ク宗教固有ノ性質ハ國家發達ノ元素ニ加ハリ其形質事情ノ諸變化ノ中ニ一脈ノ精神ヲ連續結合シテ離散紛失セサラシムルモノナリ是ヲ以テ舊來ノ愛國ノ思想ヲ人心中ニ保續セント欲セハ舊來ノ宗教ヲ維持スルヨリ便ナルハナシ今ヤ我邦政治法律其他百般ノ事物皆已ニ變化シ又將ニ變化セントスルノ際ナレハ別シテ舊來ノ宗教ヲ維持シテ從前ノ精神ヲ保續スルヲ要ス若シ之ニ反シテ猥リニ外教ヲ我邦ニ入ル、キハ之レト同時ニ我人民ノ精神ヲ西洋ニ變シ其極、彼アルヲ知リテ我ヲ忘ル、ニ至リテ止ラントス是レ我輩ノ大ニ憂慮スル所ナリ

第九段 宗教ト愚民トノ關係

世界中何レノ國ニテモ其人民ノ多數ハ無智ノ愚民ナリ此愚民ノ思想ヲ支配スルモノハ宗教ヨリ其キハナシ古來政治家カ宗教ヲ政治ノ機關トナシタルハ全ク此點ニアリ今我邦モ人民ノ多數ハ愚民ヨリ成リ神佛二教ノ信者モ愚民中ニ最モ多シ故ニ愚民ノ不平ヲ醫シ愚民ニ満足ヲ與ヘ政治ニ對シテ暴行暴動ヲ爲サ、ル様ニ之ヲ訓導スルノ良法ハ舊來ノ宗教ヲ特待スルヨリ外ナシ之ヲ特待スルハ之レト同時ニ其僧侶及ヒ頑愚ノ信徒ニ満足ヲ與フルヲ得ヘシ若シ之ニ反シテ外教ノ力ヲ依リテ我舊來ノ宗教ヲ壓伏セントスルハ僧侶ノ不平ト共ニ愚民ノ不平ヲ促カシ愚民ノ暴行暴動ヲ誘フニ至ルハ必然ナリ縱令其暴行暴動ハ直接即時ニ發セサルモ若シ其内心ニ抱キタル不滿不平、他ノ政治上ノ不和爭亂ニ乘シテ一時ニ發スルニ至ラハ其害云フヘカラス故ニ舊來ノ宗教ニ相當ノ保護ヲ與フルハ政治上最モ必要ナルヲナリ

第十段 外教ハ外國教會ノ出張ナルヲ

次ニ西洋ノ宗教ノ現今日本ニアルモノヲ視ルニ種々雜多ノ宗派アリ其主ナルモノハ魯國ノ教會、英國ノ教會、佛國ノ教會、米國ノ教會ナリ而シテ魯ノ教會ハ其本國ノ出張ナリ佛ノ教會ハ其本國ノ支局ナリ英ノ教會ハ其本國ノ教會ト關係シ米ノ教會ハ其本國ノ教會ト連合シ或ハ外國ノ宣教師ヲ戴キ或ハ外國ノ扶助金ヲ仰キ其宗名ト云ヒ主義ト云ヒ儀式ト云ヒ會堂ノ建築法ト云ヒ堂内ノ裝飾風ト云ヒ皆其外國ニアルモノ、寫眞ニシテ一毛一點モ異ルコトナシ甚キニ至ラハ其說教ノ語聲音調マテ外國人ノ假聲ヲ爲スモノアリ唯儘カニ其異ルハ大小精略ノ別ノミ故ニ是レ皆外國ノ宗教ト云フヘシ未タ日本ノ宗教ト云フヘカラス之レニ反シテ神佛二教ハ日本ノ宗教ナリ果シテ然ラハ日本ノ宗教ト外國ノ宗教トハ豈ニ同一ニ待遇スルノ理アラナヤ

第十一段 外國政府ノ關係

耶蘇教ハ外國ノ宗教ニシテ日本ノ宗教ニアラサルヲ以テ第一ニ其教ノ我邦ニ弘マルハ之レト同時ニ外國ノ政府ノ關係ヲ我邦ノ上ニ生スルヲ免レヌ例ヘハ魯國、英國ノ教會

ノ我邦ニアルモノハ其國教ノ分局出張ニシテ國教ハ其國ノ君主ヲ奉戴スルモノナリ故
ニ其教ニ入ルモノハ暗ニ其入會ノ當日ヨリ外國ノ主君ヲ奉戴スルヲ義トスルモノナリ
若シ之ヲ奉戴スルニ至ラサルモ其本國ヲ思ヒ其本國ヲ尊フノ心長スルハ必然ナリ其心
長スレハ我ヲ思ヒ我ヲ尊フ所謂愛國心ハ次第ニ減スルニ至ルハ亦自然ノ勢ナリ次ニ佛
國ハ公認教ノ國ナレハ其關係魯英ノ如クナラサルモ又實際上幾分ノ關係アルヲ免レヌ
何者其教會ノ費用ハ佛國教會ヨリ支出シ其宣教師ハ佛國人若クハ日本人ニシテ佛國人
ヨリ教育ヲ受ケタルモノナレハナリ

第十二段 外國風俗ノ關係

彼國ノ宗教ハ政府ノ關係ヲ有スル外ニ其國ノ風俗習慣禮式交際等皆其中ニ混入スル者
ナレハ其宗教ヲ我國ニ入ル、ト同時ニ其國風民情ヲ我國ニ入ル、ニ至ルハ必然ナリ而
シテ西洋各國ハ皆其國固有ノ風アリテ英ノ風ハ佛ニ異リ獨ノ風ハ魯ニ異ルナリ我國各
國固有ノ風ヲ其儘其宗教ト共ニ入ル、キハ一ハ我邦一定ノ風ヲ失ヒ一ハ我人民獨立ノ

思想ヲ失フニ至ルハ又自然ノ勢ナリ若シ英ノ國風ヲ我國ニ入レテ我國風ヲ支配シ米ノ
民情ヲ我邦ニ入レテ我民情ヲ支配スルニ至ルキハ將來如何シテ我獨立ヲ維持スヘキヤ

第十三段 各國ノ政体ト宗教トノ關係

歐米各國ハ皆其國ノ宗教ヲ異ニシテ魯ハ希臘教ヲ用井獨ハ「ルーラル」宗ヲ用井英ハ
「エビスコバル」宗ヲ用井米ハ獨立宗及ヒ會議宗ヲ用井ルハ何ソヤ曰ク是レ其國ノ政体
異ルニ由ル例ヘハ共和政治ノ下ニハ其政治ト同一ノ組織ヲ有スル宗教アリ君主政治ノ
下ニハ其政治ト同一ノ性質ヲ有スル宗教アリテ羅馬宗、希臘宗「エビスコバル」宗ハ皆君
主國ニ適シタル宗教ナリ獨立宗、會議宗ハ共和國ニ適シタル宗教ナリ今米國ニ獨立宗、
會議宗專ヲ流行スルハ其組織共和政体ニ最モ適スルニ由ル「明ナリ之ニ反シテ我邦ニ
ハ神道及ヒ佛教アリ佛教ニ於テ附法傳燈血脈相承ヲ重ニスル「各宗派皆然ラサル無ク
甚キハ世系法脈共ニ聯綿タルノ宗派アルニ至レル者蓋シ我國体古來皇統一系ヲ以テ建
テタルニ由ルヤ疑ヲ容レヌ且ツ我邦ノ各宗各派ハ皆管長ヲ設ケ教正ヲ置キテ末寺末徒

ヲ統轄スルカ如キハ羅馬宗「エピスコパル」宗等ト同組織ヲ有スルモノニシテ是レ又我邦ノ政体ニ最モ適シタルモノト云ハサル可ラス是ニ由テ之ヲ觀ルニ歐洲各國ハ大抵君主國ナルヲ以テ其國ニアル宗教ヲ我邦ニ入ル、ハ我國体上ニ害ヲ及ホスト或ハ尠シトスルモ共和政体ナル米國ノ宗教ハ君主國ニ適セサル宗教ニシテ別シテ我皇統一系國ニ適セサル宗教ナリ其宗教ノ組織ハ全ク自由共和平權同等ノ主義ニ基キタルモノニシテ其宗教上ノ思想ハ我國政体上ノ思想ト並行兩立スルヲ能ハサルモノナリ然ルニ我邦ニアル耶穌教會ハ米國ヨリ入ルモノ最モ多キハ我輩今ヨリ其他日ニ生スル利害如何ヲ憂慮スル所ナリ

第十四段 外國宗教間ノ不和

外國ノ宗教ハ其性質ト云ヒ組織ト云ヒ主義ト云ヒ我從來ノ宗教ト多少異ル所アルハ言ヲ俟タス外國宗教中ニテモ宗派異レハ其主義モ組織モ亦異リテ其各派間ノ不和ハ我邦ノ諸宗間ノ比ニアラサルナリ然ルニ外國ニテハ多數人民ノ奉スル宗派ニシテ其國体民

俗ニ適合セルモノハ政府ニテ其待遇ヲ殊ニシ或ハ之ヲ國教トシ或ハ之ヲ公認教トスルヲ以テ幸ニ其不和ヲ制スルヲ得ルナリ今我邦ニ於テ猥リニ外教中ノ不和ナル諸宗諸派ヲ入レテ我人民ノ間ニ競争セシメ其將來ノ不和ヲ制スル方法ヲ設ケサルハ他日政治上ニ大困難ヲ生シ其影響國家獨立上ニ及フハ必然ノ勢ナリ其時ニ至リ我政府ハ新ニ公認教ヲ設ケントスルモ復タ奈何トモスヘカラス故ニ其困難ノ未ダ生セサル今日ニアリテ之ヲ豫防スルノ方法ヲ設クルヲ急要ナリ

第十五段 外教ノ恐ルヘキ所以

余輩カ外國ノ宗教ヲ恐ル、ハ其宗ノ耶穌教ナルニヨルニアラス又單ニ外國ノ宗教ナルニ由ルニアラス其之ヲ恐ル、モ恐レサルモ左ノ諸事情ニアリ第一ニ我邦果シテ彼ヨリ強ク且ツ我カ文明ノ進歩果シテ彼ノ上ニ在ルキハ如何ナル宗教外國ヨリ入り來ルモ敢テ憂フルニ足ラス第二ニ其外國ト稱スルモノ永久我カ同盟親睦ノ國ニシテ如何ナル事變アルモ彼レハ我ヲ敵視スルヲナキハ何レノ國ヨリ其宗教ヲ入ル、モ敢テ恐ル、ニ

足ラス第三ニ外國ト我邦ト其政体國風ヲ同一スルハ復タ散テ彼ノ宗教ノ我邦ニ入ルヲ恐レシヤ第四ニ耶蘇教ハ其性質我舊來ノ宗教ト同一ニシテ且ツ舊來ノ宗教ト調和スルヲ得ルモノナレハ是レ又愛フルニ足ラス第五ニ我邦人悉ク智識アリ學問アリ萬國ノ事情ニ通シ愛國ノ精神ニ富ムキハ又何ソ外教ノ漸入ヲ恐レシヤ第六ニ若シ我邦人猥リニ彼ヲ尊崇シ彼ヲ摸擬セスシテ彼ト全ク關係ナキ一種ノ新耶蘇教ヲ構造シ日本ノ國体民俗ニ適スル一種別立ノ耶蘇教ヲ組織スルノ力アルキハ是レ又何ソ愛フルヲ要セシヤ第七ニ若シ我邦一タヒ外國ノ宗教ヲ入レテ他日其害アルヲ知ルニ至テ我國力ヨク其教ヲ撲滅シヨク之ヲ禁止スルヲ得ルキハ又何ソ敢テ憂慮センヤ第八ニ我邦ノ政治法律其他百般ノ制度皆己ニ一定シテ其基礎動カサルノ際ナレハ宗教ノ一部分ニ變動アルモ一國全体ノ上ニ其影響ヲ及ホスヲナカル可キヲ以テ是レ又深ク憂ルニ足ラサルナリ然ルニ我邦今日ノ事情全ク其反對ニ在ルモノナリ因テ余輩ハ深ク其將來ノ結果或ハ國家ノ大患ヲ生スルニ至ランヲ恐ル、ナリ別シテ第八條ノ一點ニ於テハ我輩決シ

テ之ヲ厭止ニ付スヘカラス現今我邦ハ百事百物皆悉ク變化スルノ際ナラスヤ其變化ノ中ニ唯一脈ノ宗教アリテ僅ニ前後ノ思想ヲ連續セルニアラスヤ我政府ハ二十餘年前ニ政治上ニ第一回ノ大變動ヲ與ヘ今年又第二回變動ヲ與ヘタルニアラスヤ此變動ノ時機ニ際シ宗教上ニモ亦變動ヲ與フルキハ兩者相合シテ必ス非常ノ大變動ヲ起スニ至ルヘシ果シテ此ノ如キニ至ラハ是レ我邦ノ大不利大不幸ナルコト余カ言ヲ待タスシテ明ナリ

第十六段 政治上ノ患害ヲ豫防スル良策

此宗教上ヨリ生スル所ノ困難ヲ避ケ大患ヲ醫シ其他日ノ不利不幸ヲ今日ニ豫防セントスルニハ余ハ此ニ一良策アルヲ知ル其策ハ唯一ノ良策ニシテ其外ニ第二ノ良策ナキモノナリ此一アリテ二ナキ良策トハ我邦ニ於テ公認教ヲ設クル是レナリ今歐洲各國皆其隣邦ト異リタル宗教ヲ用井其國一派別立ノ宗教アル所以ヲ考ルニ政略上其國ノ政体國風ニ最モ適シ人情民俗ニ最モ適シタルモノヲ或ハ保護シ或ハ特待シテ國家ノ獨立ヲ扶ク社會ノ安寧ヲ保ツノ意ニ外ナラス是ヲ以テ或ハ國教ヲ設ケ或ハ公認教ヲ置クニ至ル

ナリ獨リ米國ハ國教ナク又公認教ナシ是レ其國幸ニ外國ト懸隔シテ隣國ノ關係ナク外
 寇ノ患ナク其事情大ニ歐洲各國及ヒ我國ト異ナルモノナリ且ツ我輩ノ注意スヘキ點ハ
 左ノ二條ニアリ第一ニ米國ハ歴史ヲ有セサル新開ノ國ナリ我邦ハ歴史ニヨリテ建テタ
 ル舊國ナリ第二ニ米國ハ人民ニ等差階級ナキ共和國ナリ我國ハ然ラス是レ由テ之ヲ觀
 レハ政教ノ關係ニ至テハ我邦ハ米國ノ風ヲ學フハ最モ不適不當ナルモノナリ然テハ歐
 洲二三ノ國ノ如ク國教ヲ設ケンヤ余輩ハ國教ハ今日ニ其必要ナキヲ知リ政教ハ成ル可
 ク混同セサランコト望ムモノナリ故ニ英魯ノ如ク國教ヲ設ルハ不可ナリ又米國ノ如ク
 純然タル平民的宗教ヲ置クモ不可ナリ果シテ然ラハ我邦ハ公認教ヲ設ルヨリ外ニ良策
 ナキヲ知ル

第十七段 公認教ヲ設クルノ必要

公認教ヲ設ルルキハ上來論述シタル政教間ノ困難ハ悉ク除キ去ルコトヲ得可シ第一ニ公認
 教ハ政教混同ノ意ニ出ルニアラス第二ニ公認教ハ一宗一派ノ宗教ヲ偏視スルモノニア

ラス唯多數人民ノ奉信スル宗教ニシテ數百年來傳道セル宗教ハ之ヲ他ノ宗教ニ區別シ
 テ特認特待ノ方法ヲ設クルノミ而シテ其方法ヲ設クル目的及ヒ必要ハ社會ノ秩序ヲ保
 チ國家ノ平穩ヲ圖ルノ意ニ外ナラス耶蘇教ニテモ回教ニテモ其信徒ノ數ト傳道ノ年限
 我カ定ル所ノモノニ合スレハ即チ我公認教ナリ唯今日ニアリテハ外教ハ布教ノ年限ト
 信徒ノ定員未タ其地位ニ達セサルヲ以テ現ニ公認教トナルコトヲ得ルモノハ神佛二教ノ
 ミ然レモ外教モ他日其地位ニ達スレハ神佛同等ニ我公認教トナルヘシ其之レニ達スル
 間ニハ外教ハ自然ニ其本國ノ習氣ヲ失ヒ我國風ニ化シ遂ニ我邦固有ノ宗教トナルヘキ
 ヲ以テ外國ノ政府ノ關係ヨリ來ス所ノ困難モ人民ノ關係ヨリ生スル所ノ不利モ風俗習
 慣神式等ヨリ招ク所ノ不幸モ皆除キ去ルコトヲ得、之レト同時ニ我歴史ヲ存シ我國體ヲ
 保チ皇統ノ一系、一國ノ獨立ヲ全ウシ政教ノ紛擾、各宗ノ不和ヲ整理調解スルコトヲ得ヘ
 シ故ニ公認教ヲ設クルハ政府カ其國ニアル宗教ヲ公平無私ニ待遇スルモノニシテ而モ
 一國ノ治安ヲ保チ社會ノ幸福ヲ進ル政府ノ目的ニ合スルモノナリ

第十八段 公認教ヲ設クル規則

公認教ヲ設クルニハ先キニ示シタルカ如ク第一ニ信徒ノ數ヲ限リ例ヘハ五萬乃至十萬已上ノ信徒ヲ有スルモノ及ヒ傳道ノ年月ヲ限リ例ヘハ五十年乃至百年間布教スルモノヲ公認教トスルノ規則ヲ定ムルヲ要ス此信徒ノ數ヲ限ルハ多數人民ノ奉スル宗教ハ少數人民ノ奉スル宗教ト其待遇ヲ異ニスルノ意ニシテ今日佛蘭西ニテ公認教ヲ定ルニ十萬以上ノ信徒ヲ有スルモノトアルハ全ク此規則ニ由ル而シテ信徒ノ數ヲ限ル外ニ傳道ノ年月ヲ限ルハ最モ我邦ニ於テ必要ナル事情ナリ何者此ノ如ク年月ヲ限ルハ前段ニ述フル如ク外國ノ關係ヲ有スル宗教ハ永キ年月間我國ニ在テ長キ年月間布教傳道スルキハ自然ニ我カ風俗ニ變シ自然ニ我カ民情ニ化シ一種ノ日本性ノ宗教トナリ日本風ノ教會トナリ全ク外國ノ關係ヲ離レテ我ト其得失ヲ同ウスルニ至ルヘシ次ニ外國宗教各互間ノ不和ト其宗教ト我邦舊來ノ宗教間ノ不和モ數十年間同國內ニ布教傳道スルキニハ遂ニ互ニ和合調解スルコトヲ得ルニ至ル可シ尙ホ我國ノ神道ト佛教ハ其初不和ヲ起シタ

ルモ數百年ノ後ニハ互ニ調和セルニ至リシヲ見テ知ルヘシ故ニ我邦ニアリテ公認教ヲ定ムルニハ人數ノ外ニ年月ヲ限ルテ最モ必要ナリ斯クシテ如何ナル宗派ニテモ年月人員共ニ其規則ニ合スルキハ政府ハ之ヲ公認教トシ其一宗ニ一管長ヲ置キテ宗内ノ諸事ヲ管理セシムヘシ若シ年月其規則ニ合シテ人員其定數ニ滿タサルキハ之ヲ歴史上ニ考ヘ我皇室國體ニ關係縁故アルモノハ政府ニテ固ヨリ之ヲ公認シテ其上ニ一管長ヲ置クヘシ若シ人員其定數ニ合シテ年月其規則ニ違セサルキハ政府ハ其年月ニ違スルヲ待チテ公認ス可シ而シテ年月ヲ算定スル法ハ民間ニ公然會堂ヲ建テ公然說教ヲ開キタル日ヨリ起算スヘシ若シ年月人員共ニ其規則ニ合スルモ一宗ノ本山本部ヲ外國ニ置キ外國ノ教正ヲ戴キ外國ニ關係ヲ有スルモノ及ヒ我邦ノ秩序安寧ニ妨害アリト認定シタルモノハ憲法第二十八條ノ意ニ從ヒ決シテ我邦ノ公認教トナスヘカラス

第十九段 公認教ノ名稱

公認教ノ名稱ハ今初メテ聞ク所ナルモ其實外國ノ例ヲ學ヒタルモノニアラス我邦ニテ

ハ當時現ニ公認教アリ即チ今日ノ神道佛教ハ我邦ノ公認教ナルヲ疑ナシ唯其實アリテ
 ナ名ヲ設ケサルノミ内務省中ニ社寺局ヲ置キ各宗ニ管長ヲ立ツル等皆其公認教タル所
 以ナリ別シテ國會ノ規則ニ神官僧侶ノ被撰權ヲ制限シタルハ其意之ヲ公認教ト見做セ
 シニヨルニアラスシテ何ソヤ若シ國教ヲモナク公認教ヲモナク純然タル平民的宗教ナ
 ルキハ米國ノ如ク國法上ニ僧侶ノ名稱ヲ存スヘキ理ナク且ツ僧侶ト一般ノ人民トヲ殊
 ニシ被撰權ニ制限ヲ立ツルノ理ナシ然ルニ僧侶ハ此一點ニ於テ一般ノ人民ニ異ル所ア
 ルハ政府之ヲ特待スルノ意ニ出テタリト想像スルヨリ外ナシ因テ我輩ハ政府ハ早晚公
 認教ノ名稱ヲ設クルニ至ルヘキヲ信ス而シテ余輩ハ唯政府ニ向テ其名稱ヲ設クルコトノ
 一日モ早カラノコトヲ望ムモノナリ

第二十段 公認教待遇ノ方法

政府ニテ公認教ヲ設クル以上ハ公認教ヲ待遇スル方法ヲ定メサルヲ得ス先ツ他國ノ規
 則ニ從ヘハ公認教ニアラサル宗派ハ其國ニアリテ公然會堂ヲ建テ説教會ヲ開クコトヲ許

サス佛國ノ規則ニヨレハ公認教ノ名稱ヲ有スルモノハ政府ニテ年々相應ノ保護金ヲ與
 ルカ如キ特待法アリト云フ然シテ我公認教ハ必スシモ佛ノ如キ規則ヲ立ツルヲ要セ
 ス之ヲ特待スル法ニ至テハ蓋シ種々アル可シ先ツ佛教ノ上ニテ之ヲ言ヘハ僧侶ノ兵役
 チ免スル其一ナリ小學德育ノ全權ヲ委スル其二ナリ兵營監獄ノ教導ヲ專任スル其三ナ
 リ宗教専門學校ヲ監督スル其四ナリ僧侶賞罰法ヲ認可スル其五ナリ寺院保存ノ規則ヲ
 制定スル其六ナリ其他數條ノ特待法アル可シト雖モ今ハ唯公認教ノ名稱ヲ置クノ必要
 ノミヲ論スル點ナレハ其特待ノ方法ノ如キハ他日ニ譲ルヘシ已ニ之ヲ特待スル以上ハ
 其公認教ノ僧侶ハ進テ政治ノ妨害トナラス退テ國家ノ治安ヲ保ツ様ニ門徒ヲ教導スル
 ハ其僧侶カ政府及ヒ人民ニ對スルノ義務ナル可シ

第二十一段 公認教ノ反對說

此公認教ヲ設置スルニ反對スル論者アル可シ其反對論ノ要點ハ左ノ數條ナラン第一ニ
 西洋ハ耶穌教國ナリ然ルニ我邦神佛二教ヲ公認スルキハ其宗派ノ異同ニヨリテ我ト彼

トノ間ノ交際上懸隔ヲ生スルヲ免レヌ余之ニ答テ曰ク西洋ハ決シテ耶蘇教國ニアラス當時其國ニ流布セルモノ猶太教アリ回教アリ佛教アリテ其政府ハ唯多數人民ノ奉スル所ノ宗教ニシテ其國ノ歷史上ニ緣故アルモノヲ或ハ保護シ或ハ特待スル而已例ヘハ佛國公認教中ニモ猶太教及ヒ回教ノ一種アリ埃國ノ公認教中ニモ猶太教アリ猶太教及ヒ回教ハ耶蘇教ノ大敵ナリ然ルニ此二教ハ多數人民ノ奉スル所ナレハ政府ニテ之ヲ公認シタルニアラスヤ西洋已ニ然リ況ヤ我邦ニ於テ多數人民ノ奉スル所ノ宗教ニシテ而カモ先王開國已來我史上ニ緣故アル宗教ヲ特待スルモ何ノ不理カ之レアラン第二ニ今日我憲法ニテ一度信教ノ自由ヲ公布セル以上ハ公認教ヲ設ク可ラスト余之ニ答テ曰ク憲法上ニテ信教ノ自由ヲ公布セルハ歐米各國大抵皆然ラサルハナシ而シテ其公布ノ下ニ國教ヲ設クル國アリ公認教ヲ置ク國アルコトアラスヤ故ニ我國憲法上ニ宗教ノ自由ヲ公布セルモ公認教ヲ設クルコト何ソ妨ケトナルノ理アランヤ第三ニ政教分離ノ今日ニアリテ政府ニテ公認教ヲ設クルハ其分離ノ主意ニ反スルモノナリ余之ニ答テ曰ク公認教ハ

ク國教ト其性質ヲ異ニスルモノナリ公認教ハ政教混同スルモノニアラス若シ夫レ政教ハ判然分離シ政府ニテ毫モ宗教ニ關係セサルモノトスルキハ僧侶ハ政治上ヨリ之ヲ視レハ一般ノ人民ト同等ナラサル可ラス決シテ我國ノ如ク僧侶ハ之ヲ一般ノ人民ニ區別シテ其名稱ヲ存シ其公權ヲ制限スルコトアル可キ理ナシ歐洲各國ハ今日政教分離ヲ唱ヘテ尙ホ從來ノ宗教ヲ保護シ且ツ之ヲ特待スルハ何ソヤ蓋シ政教分離ノ主意タルヤ政教混同スルハ政治上ニ妨害アルヲ見テ其害ヲ避ケントスルニ出テタルモノナレハ分離スルモ唯其妨害ノナキニ至テ止ム決シテ政教ハ如何ナル困難妨害ノ政治上ニ生スルアルモ必ス分離セサル可ラスト云フノ理ナランヤ語ヲ換ヘテ之ヲ言ヘハ政教分離論ハ國家ノ治安ヲ害セサル範圍内ニ於テ政教分離ス可シト云フノミ決シテ其範圍ノ外ニ出テ、何程國家ノ治安ニ妨害アルモ尙ホ飽マテ分離ス可シト云フニアラス何者政治ノ第一ノ目的ハ政教ノ分離ニアラスシテ國家ノ治安、社會ノ幸福ナレハナリ然ルニ政教分離ノ主意ヲ達スル爲メニ其第一ノ目的ヲ害スル如キハ決シテ政治ノ本意ニアラサルナリ彼

ノ歐米諸國ニテ今日政教分離ヲ唱ヘテ尙ホ公認教ヲ置クハ全ク此意ニ出ツ即チ公認教ハ政教分離ノ主意ニヨリテ國家ノ秩序安寧ヲ維持スル法ナリ今我國ニ於テ政教分離ヲ唱フルモ我國家ノ治安ニ妨害ナキ様ニ注意スルコト最モ必要ニシテ今日ノ勢、公認教ヲ設クルハ即チ政府カ政教分離ノ主意ニヨリテ其政治ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事情アルコトヲ知ラサルヘカラス且ツ政教ハ精密ニ之ヲ論スルキハ決シテ判然タル分界ノ其間ニ存スルモノニアラス設ヒ之ヲ理論上判然分クント欲スルモ實際上爲シ能ハサルハ必然ナリ故ニ余輩ハ飽マテ政教分離ノ主意ニヨリテ公認教ヲ設クルコト必要ナリト云フナリ

第二十二段 公認教ノ請願若クハ建白

以上論スル所ニヨルニ政府ニテ早く公認教ノ名稱ヲ設クルノ必要ナルコト已ニ明カナリ又我舊來ノ宗教即チ神道佛教モ政府ニ對シテ公認教ノ名稱ヲ請願シ或ハ建言スルコト亦必要ナリ抑モ此事タルヤ一宗一派ニ關シタル條件ニアラス總シテ我邦舊來ノ宗教一般

ニ關スル大事件ニシテ佛教各宗ノ如キモ決シテ從前ノ如ク各本山各末寺別立シテ協議スヘキモノニアラス蓋シ各宗各派ハ其末寺信徒ヲ異ニシ其宗制寺法ヲ殊ニスルヲ以テ各相離レテ運動スルハ時宜ニヨリテ必要ナリト雖モ佛教總體ニ關スル問題ニ至リテハ諸宗諸派一致聯合シテ協心同力セサル可ラス且ツ今度ノ事タルヤ實ニ佛教全体ニ關スルノミナラス一國ノ獨立、社會ノ安寧、皇室國體ノ永續ニ關スル緊要重大ノ事件ナレハ宗教家ハ其愛國護法ノ赤心ヨリ全力ヲ此一點ニ集メサル可ラス語ヲ換ヘテ之ヲ言ヘハ其事タルヤ進テハ愛國トナリ退テハ護法トナリ最大至要ノ件ナレハ諸宗諸派ハ勿論一派中ノ本山末寺僧侶信徒皆聯合團結シテ政府ニ向テ或ハ之ヲ請願シ或ハ之ヲ建議セサル可ラサルナリ是レ余カ歐米各國ヲ巡遊シ各國ノ政教ヲ觀察シテ得タル所ノ結果ナリ是レ余カ西洋ノ政教事情ト日本ノ政教事情トヲ比較シテ論決セル結局ナリ今此ニ其大意ヲ略述シテ我邦官民僧俗幾千萬ノ同胞ニ謀リ且ツ其贊成ヲ請フ所ナリ

大
成

版
言
登
錄

明治二十二年九月十日印刷
明治二十二年九月十四日出版

定價金四錢

著作者兼發行者 井上圓了

新潟縣平民

東京府平民

印刷者 野村長三郎

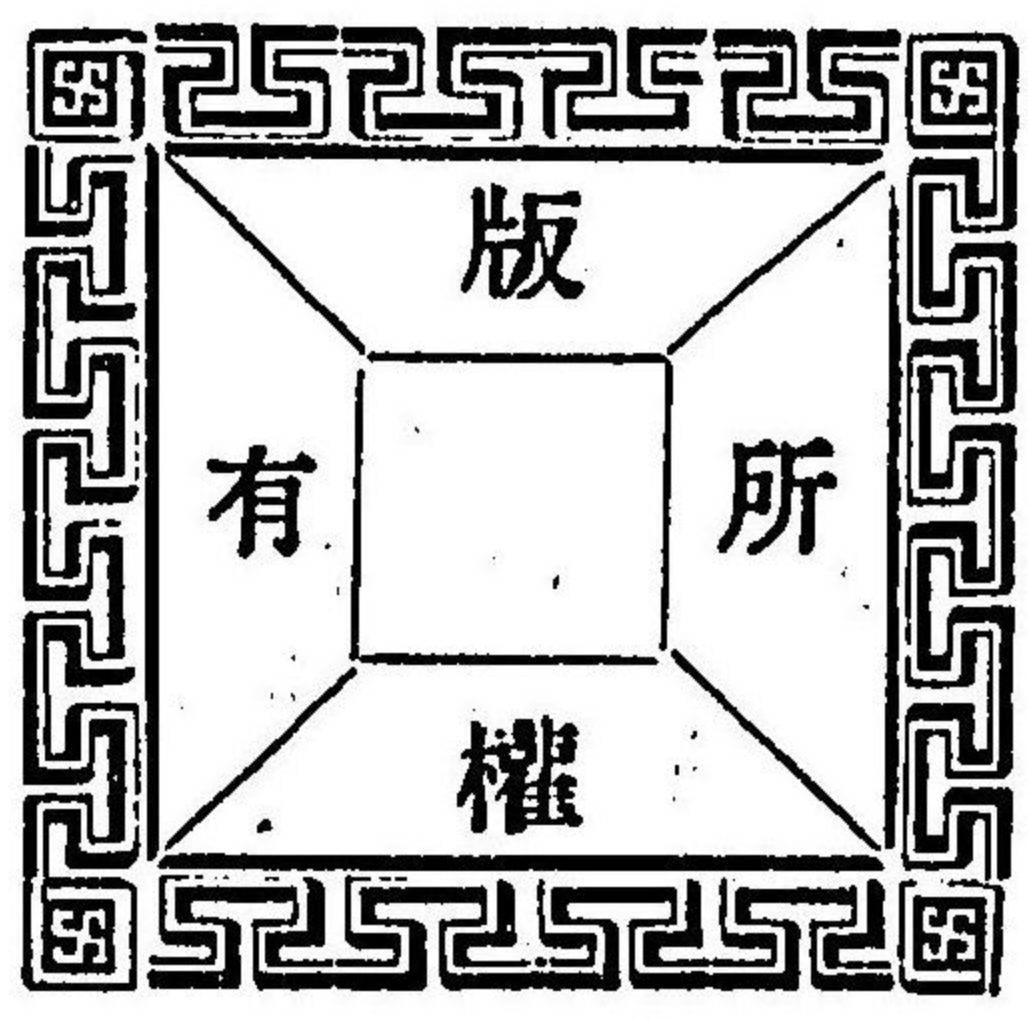
東京京橋區銀座
二丁目十五番地

發行所 哲學書院

東京本郷六丁目
五番地

關西大賣捌 松村九兵衛

大坂心齋橋筋一
丁目



印刷所 東京京橋區銀座武丁目十五番地 豐玉社

府下各地賣捌所

東京 日本橋	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同			
九善 商社	嵩山 房	須原 房	山喜 屋	鶴城 喜	佐藤 三郎	內田 芳兵衛	牧野 書房	博野 書房	博野 書房	近江 文聞社	文明 祥敬堂	盛春 堂	叢書 閣	山口 書屋	鴻西 盟屋	敬業 社	集業 社	吉成 社	國社 支店	普舍	
東京 芝區 澤草區	同	大坂	同	同	京都	同	同	同	同	尾州 名古屋	同	同	甲府	信州 長野	同	同	上州 安中	陸前 仙臺	陸前 仙臺	羽前 山形	
松井	珠水	前川	梅原	三木	法藏	大田	永九	丁院	興枝	東枝	吉枝	加藤 嘉兵衛	川瀨 代	內古	徵古	西古	高古	田那	文那	伊勢	五柿
渡戸 函館	加賀 金澤	同	因州 高田	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
種根 七	雲根 堂	近會 社	印田	室田	上田	目田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田
片谷	富山	長崎	早速	野道	廣道	一田	中學	開次	吉文	西川	谷川	樋口	松田	目田	上田	室田	印田	近田	雲田	種田	

廣告

井上圓了著 佛教活論本論第一篇縮刷 定價二十五錢

井上圓了著 佛教活論序論縮刷 定價十錢

井上哲二郎著 內地雜居論 定價二十錢

井上圓了著 歐米政教日記上篇 定價十六錢

東京本郷六丁目

右發行所 哲學書院

工-2K12

井上毅著

内外
臣民

公私權考

憲法衍義之壹

全壹冊

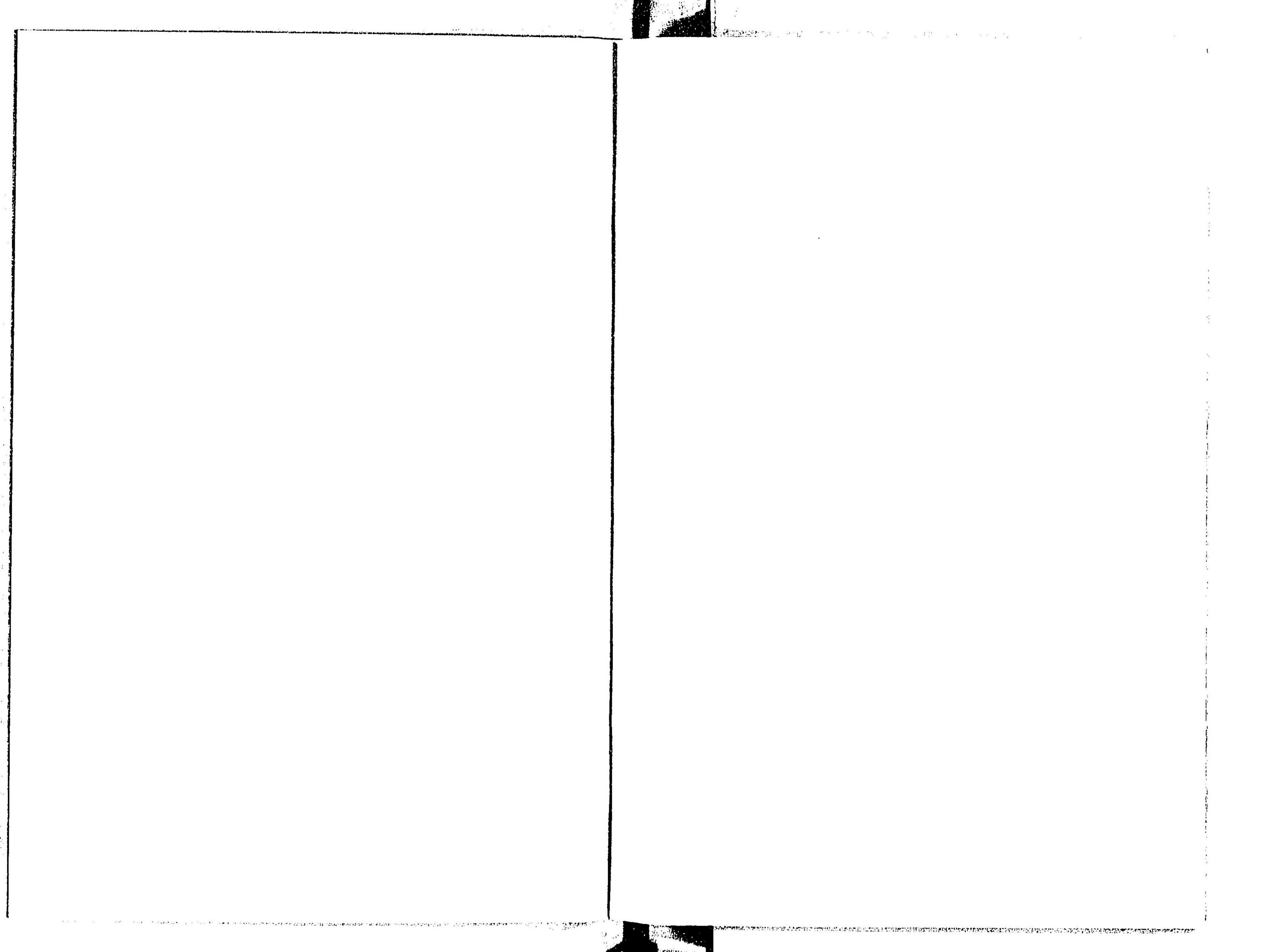
定價 金貳拾錢

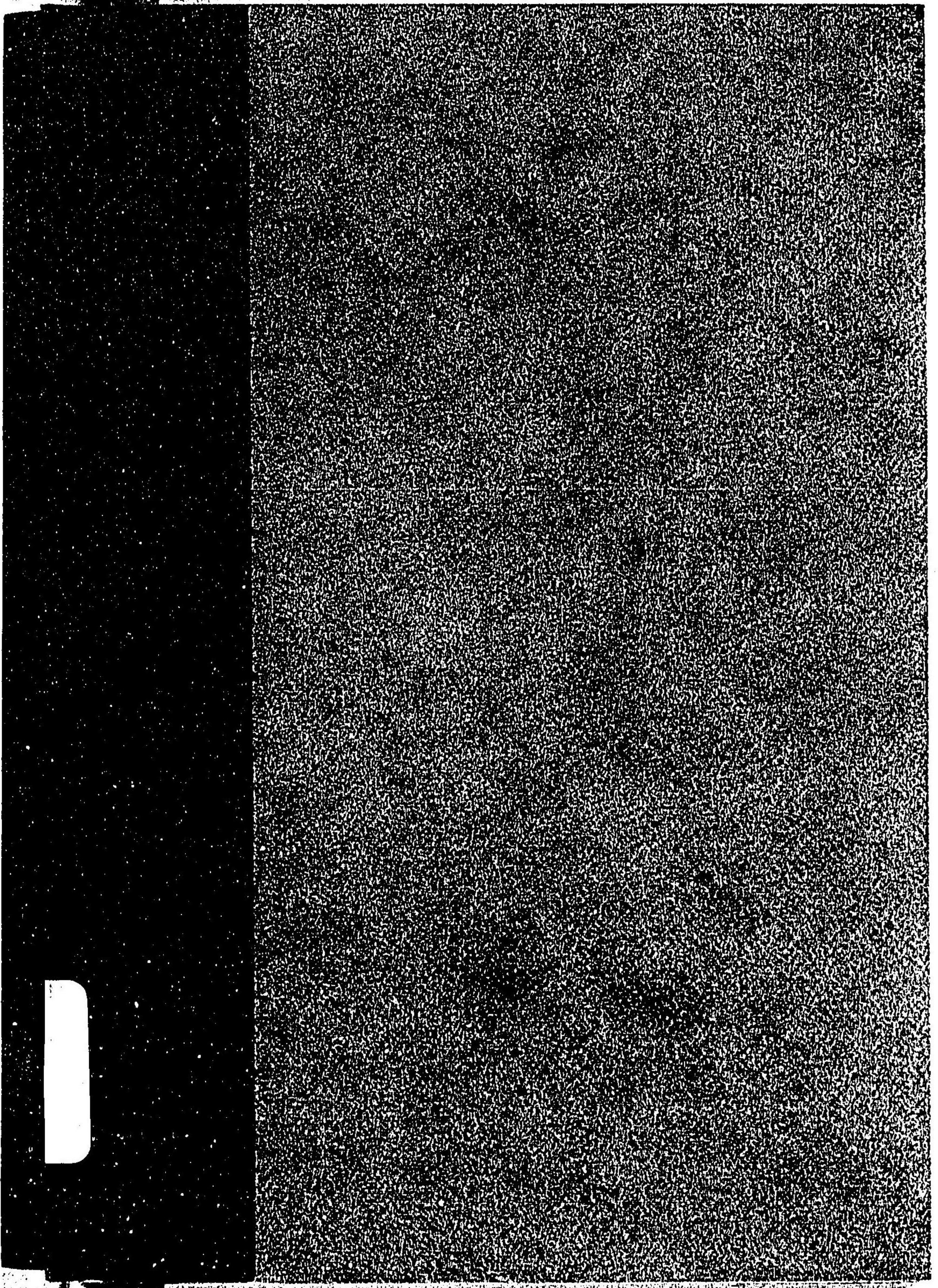
本書ハ井上毅君カ日本憲法第十八第十九條ノ主義ヲ証明スル爲メ、各國ノ實例ヲ蒐拾
網羅シテ古今ノ沿革ヲ參照シ以テ公私權私權ノ性質ト内外人享有ノ區別トヲ解説セラレ
タルノ一篇ナリ本院同君ニ請フテ此ヲ世ニ公ニスルノ許可ヲ得タリ

十月二十三日ヨリ發賣ス

發行所 東京本郷 哲學書院

賣捌所 大坂 松村九兵衛 其他全國書肆





25

253

013735-000-5

25-253

日本政教論

井上 円了 / 著

M22

ABA-0221



